

カトリック六甲教会 教会報

2007

1

No.421

1月の予定

		教会暦	教会行事
1	月	神の母聖マリア 世界平和の日	0:00 7:00 11:00 ミサ
2	火	聖バジリオ 聖グレゴリオ(ナジアンズ) 司教教会博士	
5	金		初金 7:00 10:00 ミサ
7	日	主の公現	7:00 10:00 ミサ 成人式・教会新年会
8	月	主の洗礼	
13	土		14:30 教会学校始業式 もちつき大会
14	日	年間第2主日	10:15 壮年会新年会総会 14:00 「教区新生の日」ミサ(神戸中央)
15	月		14:00 三日月会 ミサと例会
17	水	聖アントニオ修道院長	阪神・淡路大震災の日 7:00 10:00 ミサ
18	木	キリスト教一致祈禱週間 (25日まで)	14:00 ベタニアの集い
21	日	年間第3主日	第1回堅信準備会
22	月		11:00 ベビーとママの集い
24	水	聖フランシスコ・サルジオ司教教会博士	
25	木	聖パウロの回心	
26	金	聖テモテ 聖テトス司教	
27	土		10:30 哲学入門 (ザビエルハウス) 14:30 教会学校ホールミサ
28	日	年間第4主日 カトリック児童福祉の日	
31	水	聖ヨハネ・ポスコ司祭	

ふるさと 故郷に向かって

皆様、明けましておめでとうございます。西暦2007年、平成19年という新しい年を迎え、皆様とご家族・ご友人お一人お一人に神の祝福が豊かにあり、心身すこやかで幸多からんことを心からお祈り致します。私たち教会共同体・神の家族が互いに励まし合い、信仰を深める年でありますように！今年こそ平和な年でありますように！との切なる願いを込めて、新しい年の歩みを始めましょう。

昨秋、私は生まれて初めて山陰地方の松江と出雲を訪れました。岡山から伯備線・八雲(やくも)号に乗って3時間、中国山脈の山々を超え、あまたの小川や河川を渡り、田畑や湖沼を眺めながら旅をしました。もっとゆっくり走ってほしいと願うほどの、旅愁を満喫させる景観でした。農業、漁業、林業を営む町々村々では過疎化が進んでいましたが、地方や田舎には風情と人情があり、“美しい国・日本”の姿を再発見したような嬉しい旅でした(某総理から表彰状は

貰っていません)神様が創造され祝福された自然の美しさです。人間の英知と技術を駆使し、資本と労働の結果である大都会の人工美とは異なった趣きであり、人間存在の“ふるさと”に辿り着いたという安堵感がありました。資本主義経済そのものを批判しませんが、昨今はその原動力である富と繁栄への欲求が余りにも強いので、家族の絆や命の尊さが軽視されていくのではないかという危惧を抱きます。

出雲大社の境内を歩いていると、あの広大かつ厳肅なたたずまいの中に日本国の歴史の重みを感じましたが、これから高齢化・少子化へと進む日本の未来を担う若者たちが、どうか良縁と子沢山に恵まれますように！という祈りは切実でした(と云っても、縁結びの神様に参拝はしていません)。出雲教会では昭和40年代に当教会主任司祭であった薄田神父にお会いしましたが、六甲教会のことを懐かしく思い出され、熱い弁舌を久しぶりに伺うことが出来ました。「信徒の方々は、さまざまな理由で教会から離れる時期があっても必ず戻って来られます・・、人間はふるさとへ回帰するのです・・、地上の人生に自分の教会があって本当に助かった！教会には主の秘跡と神の祝福がある！昔からの親友もいる！・・人は魂のふるさとを慕いな

がら教会に帰って来るものです」と。

帰りの車中では、大好きな唱歌を何度か口ずさみました。 兎追いしかの山、小鮎釣りしかの川、夢は今も巡りて、忘れ難き故郷。いかにいます父母、つつがなしや友がき・・ 戦時中に木曾川沿いの岐阜の田舎に疎開していた日々が走馬燈のように浮かんで来て、今は亡き父母兄弟のことを思い出しました。涙もろい歳になったものです。そして、私が今生きている時間とは何か？とも考えました。5年～10年若返りたい、いやもっと昔に帰りたい、できれば家族全員一緒にいた時代に戻りたい・・と。しかし、私たちは二度と繰り返されない時間、決して元に戻れない時間、常に未来に向かってゆく“今”と云うかけがえのない時間を生きているのです。一体、人間存在は何処へ行くのでしょうか。室生犀星は詠んでいます。「ふるすとは、遠きにありて思ふもの・・」と。確かに、そうですね。神の想い・神のみ心を内に秘めている私たちは、神から生まれ神のふところに帰って行く、そのまことの故郷に向かう旅をしているのです。その道すがら、私たちは教会の中で神の祝福と秘跡の恵みをいただきながら、今年もまた新たな未来に向かって出発したいと思えます。忍耐と勇気をもって！ 桜井神父

各 部 会 だ よ り

👉 壮年会

1 新年会総会

1月14日(日)10:15から 第1・2会議室

2 男の料理教室

1月17日(水)10:00から

👉 婦人会

1 任期について

10月の評議会で、かねてから懸案事項でありました、役員4月交代の件が提出されました。12月1日の婦人会例会にて承認されましたので、今年度の役員の任期は3月いっぱいとなりました。

た。任期の変更に伴い、会費も4月から集めます。

2 婦人会新年会

1月ではなく、2月2日初金ミサ後、総会・新年会をいたします。詳しくは、チラシができれば次第お申し込み下さい。

3 1月の聖堂掃除当番

5日(金)東4・5

12日(金)西1・2

19日(金)西3・4・5

26日(金)中1・2

いずれも午前9時からです。

👉三日月会

- 1) 例会 1月15日(月)14時～
ミサ
実務体験解説：三輪先生
ビデオ鑑賞
- 2) 三日月会喫茶コーナー
1月第1日曜の喫茶は教会行事の為休みます。

👉青年会

<定例会>

- 1月14日(日)12:30～14:00 第3会議室
1月28日(日)12:30～14:00 第3会議室
聖書を読んで分かち合い
初めての方もお気軽にご参加下さい！

👉社会活動部

1月26日(金)10:00～ 社会活動部連絡会
於：第2会議室

今月は、松の内を外し、第4週の金曜日にしてあります。お間違えの無い様にご注意下さい。年度末に向けて討議する内容が沢山ありますので、関係者(代理可)は必ずご出席下さい。「社会活動部の連絡会って、どんな事をやっているのだろうか?」と興味をもたれた方も是非覗いてみて下さい。大歓迎です。

<お 知 ら せ>

このコーナーでは所属部会の枠を超えて、みなさまに広くお知らせしたい事項を掲載しています。教会の掲示板にも同様のお知らせが多数ありますので、あわせてお読みください。

【行事部より】

新年会 1月7日(日)10:00 ミサ後

今年も久保信人さんが実行委員長として音頭をとって下さいます。新しい年を迎え、教会の未来を担う新成人のお祝いや、受洗者、転入者をご紹介するイベントも行ないますので、多数ご参加下さい。ゲームの企画や軽食もご用意致します。新しい年を楽しく過ごしましょう！

【養成部より】

「哲学入門」第3回 1月27日(土)10:30～12:00 (於：ザビエルハウス)

講 師：英知大学教授 奥村和滋先生
テーマ：関係の哲学 ～愛とうらみの人間論～
受講料：一般1,000円 学生300円
途中から受講される方、大歓迎です。

【婦人会より】

聖堂掃除当番について

聖堂の掃除当番が、新しくなって、2月からスタートいたします。以前に登録して下さったグループ<金曜日の午後、土曜日の午前、日曜日 11時ミサ後>ごとに連絡網を作りました。イグナチオホールに置いてありますので、各自自分の名前に をつけてお取り下さい。また、婦人会の地区ごとの当番表はそのままお持ち帰り下さい。

【社会活動部より】

1月1日(月) 5日(金) 「神戸の冬を支える会」の越年・越冬活動

年末28日よりスタートしております活動でのカトリック担当日です。
10:00～16:00 東遊園地(神戸市役所南側)に於いて活動されます。
詳細は聖堂入り口の掲示板のチラシをご覧頂き、老若男女を問わず、多くの方々のご協力を御願い

したく存じます。「終日は無理だが少しの時間でも？」大歓迎です。宜しく御願い致します。

1月13日(土) 10:00~ 炊き出し

教会台所で準備し、用意の出来次第、小野浜公園に移動致します。

本年最初の担当日です。お寒い時ですが、ご協力を宜しく御願い致します。

1月18日(木) 14:00~ ベタニアの集い (於:小聖堂&イグナチオホール)

本年第1回目の集いです。新年の初顔合わせにお元気なお姿をお見せ下さい。

スタッフ一同、お目にかかれるのを楽しみに致しております。

お風邪を召しませんように、ご自愛下さい。ご案内は追ってさせていただきます。

1月21日(日) 10:00~ 手作りコーナー (於:イグナチオホール)

恒例の手作り弁当ほか食品、小物などの販売を致します。ミサの前後、是非ホールを覗いてみて下さい。ご協力を御願い致します。

1月26日(金) 14:00~ おにぎり作り (於:教会台所)

須磨方面夜回り支援の為に作ります。ご協力を御願い致します。

「手芸の集い」1月はお休みさせていただきます。2月よりスタート致しますので、今月はごゆっくりとお休み下さい。次回の集いよりご協力を御願い致します。

2006年度 チャリティーバザー(11/19) 献金先

11月19日(日)に催されたチャリティーバザーの収益金の献金先と献金額について社会活動部連絡会で話し合い、小教区評議会にて承認を頂き、教会からの補助を合わせ、それぞれの献金先へ年末に送金させて頂きました事をご報告申し上げます。本当に小さな規模で細々と“小さき人々”に寄り添い、運営資金に困窮しながら必死に活動しておられる所が何と多いことかと、胸の痛くなる思いが致します。
(社会活動部 志水)

📖 図書紹介

「心的外傷と回復」

ジュディス・L・ハーマン

みすず書房

余りに有名な本なので既に読まれた方も多いと思いますが、あえて紹介します。

ハーマンは女性の立場から「闘う精神科医」として性犯罪被害者に強い共感をもってPTSDの疾患概念確立に深く携ったいわば大御所です。

これほど毀誉褒貶相半ばする本も珍しく、日本では全国の医学部学生が競ってこの本の抄読会を行っているのに対し、本家の米国でハーマンは今や非難の対象となっています。PTSDは本来、戦場で心の傷を負って戦えなくなった兵士を「再生」して戦場へと送り出すべく研究され、高度の政治性を有する概念でした。豊富な予算の裏づけもあったのです。

ハーマンは弱者の立場からこの問題にかかわり、いわば異端の存在でした。そして小児期の性

的虐待に関する法廷闘争問題でロフタスと正面衝突して今や旗色悪しというところでしょうか。

今一つ述べておかなければならないのがハーマンの徹底した反教會的立場です。これは、第一章を読んでいただければ分かりますが、魔女裁判などを通じてヒステリーの問題に徹底的に敵対した中世教會への不信感が根底にあるようです。

しかし、こうした問題を抜きにしてもこの本はきわめて良く書かれており、心的外傷の問題を扱う人にとって必読の書となっています。それにしても、かつてヒステリーと呼ばれたPTSDの歴史は、偏見と差別の歴史であったことがわかります。

日本語版は中井先生の名訳で出版されていますが、ハーマンの英語は端正で美しく、ちょっと皮肉なことにキリスト教の教養に溢れています。私はこの素晴らしい文章に惹かれて原文で二度繰り返して読みました。
(山本)

新年の大切なお知らせ

主任司祭より

新年に当り、これまで小教区評議会や各信徒会で話し合われて来た“みんなで担う信徒奉仕職”の内容を纏めてみました。多くの活動が、正に信仰者として成熟かつ自立した奉仕であると思います。これからも、より多くの方々が参加して下さいようにと祈っています（お名前は、アイウエオ順で敬称略とさせていただきます）。

1) 教会の全てのメンバーは、キリストの弟子として、いただいた信仰の恵みと喜びを日々出会う方々に言葉と愛をもって伝えていく使命を受けています。

ご高齢や病気のため、また大きな苦しみや試練のため、その使命を日々の犠牲や祈りという素晴らしい方法によって果たしておられる方々もいらっしゃいます。教会はその方々の犠牲や祈りに支えられているのです。

家庭の中で親から子供に信仰が伝わるように、幼児期・小学生の時から家庭で一緒に祈ることが勧められます。教会学校・中高生会のリーダー会もご家庭に協力したいと希望しています。現代の複雑多様な世界へ巣立って行く子供たちに、命の尊さと正しい価値観を伝えたいですね。

ご家庭の場所を提供出来る方は近隣の方々や友人・知人を招き、月に一度でも一緒に聖書を読んだり、信仰を分かち合う場を持っていただければ幸いです。

三日月会、婦人会、壮年会、青年会が中心になっている行事部・広報部・財務部・施設管理部（園芸部を含む）・社会活動部の各奉仕グループ・地区会・養成部など教会内外に係わる働きは大切な信徒奉仕職です。私たちが必ずお世話になる墓地委員会も教会にとって欠くべからざる奉仕職です。

主日ミサ後にお茶や食事を提供して下さいするグループ、聖堂内外の掃除やお花を生けて下さる方々、教会（主日ミサ前後の）案内係の方々、海星病院チャペルの世話をして下さいするグループなどは教会にとって誠に有り難い奉仕職です。

男の料理教室（壮年会）や文化サークルの囲碁将棋、絵画教室、混声合唱、手芸、俳句の会などは地域に開かれた交わりの場として発展することを願っています。

2) 聖書の勉強会や信仰入門講座などについて。

司祭はこれからも減少して行きますので、皆様には信徒の方々やシスター方が担当する勉強会に積極的に参加し、互いに信仰を分かち合うのが望ましいと思います。現在は次の担当者によるクラスがあります。桐原（第1日曜10：15 カトリック教会のカテキズムを読む会）藤原（隔週土曜10：30 福音書の輪読会、第4月曜11：00 ベビーとママの集い）三輪（隔週木曜15：00 聖書勉強会）吉村・高橋（木曜19：00 聖書による信仰入門）堀川（4月から信仰入門開講予定）そして Sr.出口（隔週で日曜10：15、水曜10：00、木曜15：00）Sr.吉田（隔週月曜10：30）の各クラスが続いています。この方々は、それぞれ個性豊かな勉強会を準備しておられます。

幸せな家庭生活が営まれるように、結婚準備セミナーのスタッフは年3回（各4回）神戸地区の11教会全体のためにセミナーを実施して下さいしています。信徒には必須のセミナーですが、信徒でない方も大歓迎です。

図書室では聖書や信仰に関する本が充実するように、図書係が毎週一度集まって奉仕して下さいしています。自ら良い本を読んで祈ることは、血となり肉となって身に付くことと確信しています。

3) 集会祭儀の司式者について：2000年秋より教区の認可を受け、志田、藤原、堀川の3名が司式者に任命され、その後、大倉、高橋、久本、藤井の4名と、昨年秋には飯塚、Sr.小沢京子、佐久間、堤、藤原の5名が加わり計12名となりました。この方々には信徒による共同体の祈り、家庭や地区会やグループでの祈りの集い、主日の集会祭儀（海星病院内チャペル）や通夜の典礼などにも司式者として貢献していただくこととなります。

4) 聖体奉仕者について：教会法および司教協議会の定めによれば、22才以上で信仰生活3年以上の適正を有する信徒となっていますが、同時に六甲教会では典礼部が研修会・黙想会を開き、奉仕者の方々に参加していただいています。

さて毎年一度、聖体奉仕者のお名前を正式にお知らせするのが望ましいので、ここに記したいと思います。即ち今年、阿部、飯塚、牛尾、大倉*、沖田、河野、木暮、木暮、佐久間、志田、志水、高橋*、橘、千原、堤、長田、永田、中村、中村、久本、福島、藤井、藤井、藤原、藤原、藤原、堀川、堀川、増田、本下、綿貫の計31名の方々です（*印の方は、事情により主日ミサの当番から外れます）。今回も数名の方々の交替がありました。今後も聖体奉仕が信徒の間に広がって行くことを希望しています。

また、**典礼祭儀のオルガニスト・先唱・祭壇奉仕・聖書朗読**、さらには葬儀・結婚式での聖歌奉仕なども積極的に典礼に参加し教会共同体を励ます大切な信徒奉仕職です。典礼部では祭壇奉仕（侍者）のために、小学生と中高生の養成にも力を入れて下さっています。

以上

新しい年を迎えて

評議会議長 鈴木 肇

このたび「みんなで担う信徒奉仕職」について主任司祭より、老若男女すべての信徒に対して、たいへん具体的な指針をいただきました。この意向に沿って、ご高齢や病気で苦しんでおられる方にはベッドからお祈りと犠牲を、子育てでお忙しい方には、家庭でご自分の子どもと一緒に祈る時間を、サラリーマンは仕事を通して、学生は勉学を、主婦は家事を通じて、祈りと犠牲の心を主にお捧げすることが出来れば、それは奉仕職の大きな支えになると思います。

また、私たちの活動は、共同体の中だけに留まらず、外に向かって主の福音をのべ伝えるように、信仰の分かち合いが求められています。

身のまわりの人々に、聖書の勉強会や信仰入門の案内をするよう、十分な努力をしたでしょうか？私自身も反省しています。

今年は、この共同体がひとつになって、全員が何か一つ以上の奉仕職に関わっていると自信をもって言えるようになりたいと願っています。

(婦人会報告)

例会の報告

12月1日(金)に婦人会例会が開かれました。

例会には、婦人会の会員の磯部さんに「聞こえない人とかかわって」のテーマでお話を聞きました。手話との出会いは、神のご計画の中で始められたとのことでした。「聞こえない」とはどんなことかということについてお聞きし、コミュニケーションの方法として、手話、筆談、口話、指文字、身ぶり、絵、要約筆記(OHP、OHC、パソコン要約筆記など)があり、それぞれの個性、目的にあった方法があるということをお話し下さり、聞こえない人から生まれた手話を婦人会員も全員で「さあ、やってみましょう」と行いました。

~~~~~・~~~~~

**(養成部報告)**

**12月2日「祈りの道場」**

今回のテーマは「聖霊による識別」でした。

未熟な私にとって、聖霊というものはわかるようで、よくわからないものでしたが、英神父様の簡潔で的確なお話で捉えられるようになりました。

特によくわかったのは、ガラテアの「霊の実と肉の業」という箇所を引用して、霊の実というのは、神様に向かっている動き、肉の業というのは神様から遠ざかっている動きで、人間には両方が備わっている。だから、自分の中にこの2つがどのように動くのかを把握しておくことと神様からぶれないということでした。お話の後の時間で自分を振り返る貴重な時間が過ごせました。

子育てをする中で、今まで以上に自分のことを考え直す機会が与えられて迷っていましたが、初めて長時間子供と離れるので心配しましたが、思い切って参加して、心の中に瑞々しい感情が生まれ、新しい気持ちで過ごしていけると思いました。(森川)

~~~~~・~~~~~

囲碁・将棋大会便り

12月2日、第9回大会を催しました。18名が参加し、緊張の中で熱戦が繰り広げられました。優勝者は、碁が齋藤さん、将棋が中口さんでした。今回は新顔です。

なお、毎週土曜日午後、ロヨラルームで会を開いております。どなた様でもご興味ある方はお出でください。

~~~~~・~~~~~

**「ハレルヤ！」～メサイアの合唱に初参加～**

「メサイアに出ないかい？」誘われるままに、面白そうだと一つ返事で11月から練習に参加して驚きました。相当歌いこんでいる人も、趣味で楽しく歌っている人も集まって9月から練習を積み重ねていたことを、後から知りました。音譜読みと合唱合わせに必死でしたが、コロソ先生のユーモア溢れる指揮・指導のもと、あっという間の練習と本番でした。とても楽しく主の生誕「ハレルヤ！」の喜びを実感しながら歌うことができました。(綿貫)

~~~~~

ごみの出し方が変わります

先日よりチラシにてお知らせをしていますが、教会から出るごみは、自分たちで分別し、業者に引き取ってもらうことになりました。ルールを守って、ごみの処理をしましょう。

皆さんに守っていただきたいこと

- 区分別のごみ箱に**決められた通りに捨てる**。
- 1回の廃棄量は90リットル袋2個です。**ごみのかさを小さくすること**。
- 缶、びん、ペットボトルの中身は残さない。
- ペットボトルのキャップはプラスチックの区分の箱に捨てる。
- 缶、ペットボトルは**潰して出す**。
- ダンボール箱類は**折りたたんでブルーのプラスチック容器に入れる**。
- 粗大ごみは受付に届け出る。
- 各部の会合等で発生する**ごみの処理は各部で処理する**。
- 外部団体主催の会で発生した**ごみの処理は主催者で行う**。

粗大ごみを除き、<可燃ごみ> <不燃ごみ> <資源ごみ>のごみ箱は信徒会館北側の通路脇に置いてあります。

教会報月2月号の発行は、1月28日(日)です。 編集会議は1月21日(日)です。 記事原稿は、1月14日(日)正午までに信徒会館事務室へご提出願います。 (広報部) http://www.rokko-catholic.jp	カ ト リ ッ ク 六 甲 教 会 〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21 電 話 078-851-2846 発行責任者 桜井彦孝 神父 編 集 広 報 部
--	---